SUZUKI

萩原 健介

川島 翔太

江崎 寛人

田口 晴久

はじめに

- 日本の自動車市場において、トヨタ、日産、ホンダに次ぐ第4位に位置するのがスズキである。日本国内では、決して大手とは言えないスズキだが、インドを中心とした一部の海外市場においてトヨタ、ホンダを抜く市場シェアを誇っている現状がある。このような小規模メーカーが海外で大手を上回る市場シェアを高めることができたのは何故なのか?
- このような理由から、私達はスズキの海外戦略の現 状の解明をしたいと考えました。

発表内容

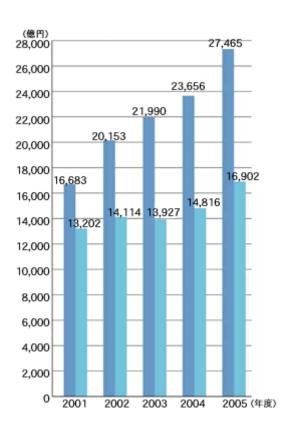
- 第一回 スズキとは
 - I-1 会社概要
 - I 2 四輪事業
 - I 一3 二輪事業
- ・ 第二回 スズキのインドにおける海外戦略
- ・ 第三回 スズキの今後の課題

スズキとは I-1会社概要

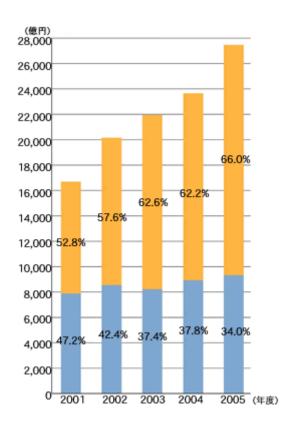
- ◆ 会社名 スズキ株式会社
- ◆ **設立** 1920年3月(大正9年) 鈴木式織機株式会社として設立 1954年6月(昭和29年) 鈴木自動車工業株式会社と社名変更 1990年10月(平成2年) スズキ株式会社と社名変更
- ◆本社 静岡県浜松市
- ◆ 資本金 120,210百万円 (2006年3月31日現在)
- ◆主要製品 二輪車・四輪車・船外機
- ◆従業員数 14,180人
- ◆売上(連結) 2兆7, 465億円

スズキとは I-1会社概要

◆売上高推移(連結:単独)

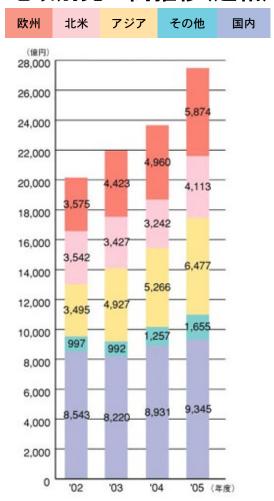


◆売上高の国内・輸出比率推移(連結)

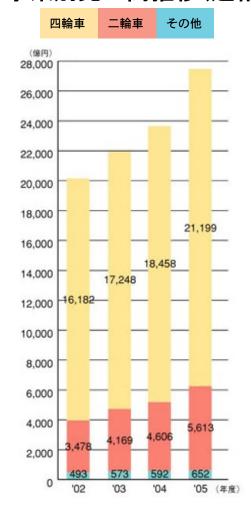


スズキとは I-1会社概要

◆地域別売上高推移(連結)

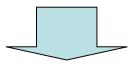


◆事業別売上高推移(連結)



- スズキの四輪事業における特徴 軽自動車 国内販売台数33年連続 No.1
- スズキの四輪事業におけるコンセプト

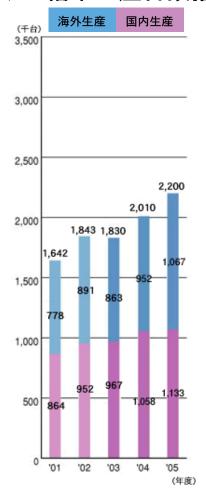
 小さなクルマ 大きな未来
 小さなクルマ作り
 地球にやさしい製品作り
 小さく・少なく・軽く・短く・美しく



生産・組織・販売などあらゆる面で徹底



◆四輪車生産台数推移



主な軽自動車 ワゴンR



2003年類累計販売台数 200万台突破

軽自動車で唯一RJC Car of the Year受賞







世界戦略車

世界戦略車第一弾「新型スイフト」 開発コンセプトは「見て力強さを感じ、乗って力強く走る ダイナミックコンパクト」

生産は日本・ハンガリー・インド・中国の四カ国で実施現在、欧州・アジアで幅広く販売 2006年 RJCカー・オブ・ザ・イヤー

2005-2006日本カーオブザイヤー特別賞「Most Fun」受賞

世界戦略車第二弾「エスクード」 海外向けのモデル名は「グランド・ビターラ」 2005年7月から中南米を皮切りに、欧州・北米・アジア・ 中近東世界各地域での販売デザイン・機能に優れたSUV として好評を得て、初年度の世界販売計画台数を当初の 12,5万台から18万台に上方修正した。



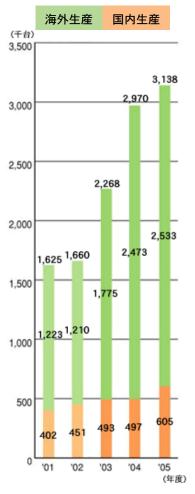
スズキとは I-3 二輪事業

- ・ 二輪車は、先進国においては成熟市場
- アジアなどの発展途上国の市場はまだまだ成長市場
- ・ 2001 タイ
- 2002 中国

R&Dセンター設立

• アジア各国の道路事情・生活事情・お客様の志向を的確に分析し、求められる製品の企画・デザイン・設計・開発までを一貫して行っている。

◆二輪車生産台数推移



スズキとは I-3 二輪事業

・ 北米への戦略北米では一人乗り四輪オフロード車(ATV)の人気が定着+欧州で人気の高いスーパースポーツ車

アメリカ・ジョージア州にATV専用工場を設立。輸出の手間を省き、市場にダイレクトに商品を供給できる体制を整えた。

「サーキットで生まれ、サーキットに戻る」というスローガンのもと、GSX-R750を販売。今なお、幅広い消費者から人気を誇る。

まとめ

• 日本国内販売台数は第4位のスズキであるが・・・

- 軽自動車 国内販売台数33年連続 No.1
- 世界戦略車の投入による世界市場での販売増
- アジアでの二輪車の販売増

規模やシェアは小さいながらも国内や海外で着々と 成功を収める秘訣は何なのか?